



平成9年4月に秋田県立リハビリテーション・精神医療センターは開設され、平成21年4月からは地方独立行政法人 秋田県立病院機構 秋田県立リハビリテーション・精神医療センターとなっております。当センターはリハビリテーション科100床と精神・神経科200床（うち100床は認知症対象）の病院です。薬剤科は、薬剤師4名と薬剤助手1名で300床の入院患者さんと1日100名前後の外来患者さんの調剤を中心とした業務を行っています。各施設等を紹介致します。



○調剤室

調剤支援システム（薬袋印字機、自動錠剤分包機、散薬監査機、散薬分包機等）を利用して患者さんの待ち時間を少なくし、かつ正確な調剤を心掛けております。



○薬品検収室

平成21年7月の新医療情報システムの導入に伴い、薬歴のコンピュータ管理ならびに医薬品在庫管理システムとの連動による医薬品の自動発注を始めました。



○受付カウンター

外来の患者さんに対しては、薬の効果や副作用についてはできるだけわかりやすい言葉で話すように心掛けております。また、薬の効果、飲み方、副作用に関する情報を文書で提供しております。



○医薬品情報管理室

医薬品を有効かつ安全に使用して頂くために、医師、看護師をはじめ他の医療従事者へ医薬品に関する情報を提供しております。

調剤だけでなく、患者さんへの情報提供等を通じて良質な医療の提供に貢献できるように努めたいと考えております。

